

にけーしよん

2/4 健康な体は運動と食事から!

城辺保健福祉センターで、町食生活改善推進協議会が「オタツシャ教室」の修了者、15名に対して「大人の食育教室」を行いました。この事業は、調理実習を通して、生活習慣病を予防するための正しい食生活の知識を身につけてもらおうと実施したものです。当日は、鶏肉ホイル焼き、ほうれん草とかぼちゃのごま和えなど、主食、主菜、副菜、汁物とバランスのとれた食事を作り、食生活の大切さを学んでいました。



2/7 あっ、野鳥がいた!

町内の自然に触れて環境保全の意識を培おうと、須ノ川地区の大規模林道と節崎地区の登尾池で「野鳥自然観察会」が行われ、親子連れら23名が、バードウォッチングを楽しみました。

須ノ川地区林道では、始めに日本野鳥の会会員の楠木憲一さん、清家円三さん、松田久司さんから、双眼鏡の使い方や観察のコツについて説明を受け、声を潜めて双眼鏡でヒヨドリやメジロなどを探していました。参加者にとっては、鳥や風の音など、自然の素晴らしさを体感する一時となったようでした。



矢崎由美子さん

2/8 やさしさ、溢れる町をめざそう!

御荘文化センターで「愛南町女性の集い」が行われ、各地域の婦人会等の方々、約110名が参加されました。当日は、町連合婦人会長の森岡真由美さんによる活動事例の発表、阪神淡路大震災の語り部として活躍されている矢崎由美子さんの講演がありました。講演の中で矢崎さんは「震災を経験し、世代を越えた支え合いの中で生きていることを実感した」と話され、人と人のつながりの大切さ、ボランティア活動のあり方を分かりやすく話されました。

今後、それぞれにできるボランティア活動等、やさしさの輪が町全体に広がることを期待したいと思います。

2/8 愛南町をアピール!

松山市総合コミュニティセンターで「ふるさとCM大賞えひめ2009」公開審査会があり、本町からは「孫より海に魅せられて」「あなたの愛を下さい」の2作品を出品しました。審査会では、大洲市の「ドラ・コミ・なんよ」の制作した「突入せよ!」が大賞を受賞しました。なお、本町が制作した2作品ほかは、町ホームページでご覧になれます。



愛南こみゆ



1/17 美味しいぜんざい、ありがとう!

日本赤十字奉仕団一本松支部(支部長、森岡真由美さん)の皆さんが、一本松小学校の校内マラソン大会で「ぜんざい」のサービスを行いました。

当日は、保護者と全力で走る児童の姿に、多くの声援が送られていましたが、走り終えた後は、疲れた体と心を癒す甘いぜんざいを楽しそうに笑顔で食べていました。

1/18 受け継がれる郷土の舞いを披露!

御荘文化センターで、各地区で傳承されてきた郷土芸能を広く紹介しようと「宇和島圏域郷土芸能祭」(主催、宇和島地区広域事務組合)が行われ、本町から福浦小学校の



福浦小学校「風の子太鼓」

「風の子太鼓」城辺下組祭保存会の「唐獅子」城辺中組唐獅子保存会の「唐獅子」中泊・外泊地区祝唄保存会の方々が出演し、素晴らしい舞いや歌を披露しました。



城辺中組の唐獅子



2/3 鬼が来るぞ~!

一本松地区で、赤や青の鬼に扮した青年が家々を回る節分行事(主催、一本松分館)が行われました。当日は、玄関から「悪い子はいるか」と入る鬼に、子どもたちが泣きながら豆を投げていました。同地区の幼子のいる家庭では、この日は「こわい鬼が来る」ということが浸透しているようで、鬼が家族の絆を深める一役を担っているようです。

2/4 私たちの防災マップが入賞したよ!

東海小学校5・6年生「岩水防災キッズ」が作成した防災マップが「第5回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で審査員特別賞を受賞し、同小体育館で表彰状の伝達が行われました。

マップづくりに参加した児童にとっては、改めて身近な生活環境の良さを体感する機会となったようです。

